

12月4日(日)



濟州島の真さばと地元庄原のすだち使った

自家製
真さば

1枚 780円 (税込)



バッテラ(4カン入り) 780円(税込)

西田鮮魚店

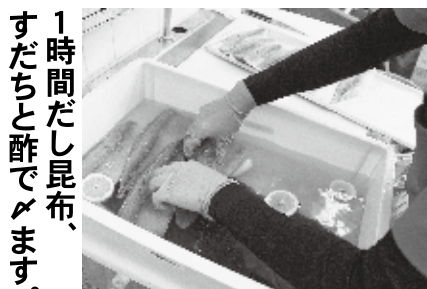
072-5246

御用聞き便専用番号 090-7125-5489 (旧庄原市内はご自宅に配達)

御用聞き便ポイントカード 火・水曜日ポイント2倍



1時間
ベタ塩をします！



1時間だし昆布、
すだちと酢で漬めます。

12月突入〜！
家は、先月からストープとコタツを出して、すでに冬支度をしております。家の飼猫も、日々幸せそうにくつろいでおり、それを見て私も日々癒されております。幸。

この時期になりますと、お魚も脂がのり大変美味しくなっています。今回はその中でも厳選して選んだのが濟州島の真さばで作る「さば」。

最近良く店頭に並んでいるのですが、アラ処理で「一枚三枚」とおろしていると、包丁が脂で前に進まなく成る程に脂がのっているんです！

「絶対旨いやつやん〜！」
と思いつき、お寿司やお刺身でも勿論お出ししていきます。生さばでの販売も考えたのですが、当店ではバッテラにはかなりこだわりをもっており、今、この脂がのっている真さばと季節を感じるスタチ果汁を絞った、当店自家製の「さば」で勝負したく思い、今回は「さば」にさせて頂きました。

是非当店自家製のこだわり「さば」をお召し上がりください！

おまけ
先月私の次女が二十歳の誕生日を迎えました。プレゼントを渡しに久しぶりに娘に会ったのですが、凄く大人びておりました(汗)。

もう我が子が、二人も成人したんだなあ〜と思ひ、ふと会長に言われた(娘ロス)という言葉が頭をよぎり哀愁を、漂わせた今日この頃です(笑)。

西田鮮魚店 主任 奥原歩久斗

『カープトークショー 3人のルーキーたちが素敵で……』

鮮コーポレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史



右から
田村 俊介(19)
ドラフト4位
愛工大名電高→広島カープ
背番号60

松本 竜也(23)
ドラフト5位
智辯学園高→ホンダ鈴鹿→広島
カープ
背番号45

中村 健人(25)
ドラフト3位
中京大中京高→慶応大→トヨタ
自動車→広島カープ
背番号50

11月27日。カープの選手が3人ジョイフルに来てくれました。3人とも今年一年目のルーキーです。19才の田村選手は、まだ宙で汗を流していますが、社会人野球から来た中村選手と松本投手は、もうおなじみでしょう。

カープ応援隊の土井会長から、ジョイフルに吉報が入りました。3年ぶりにカープ選手が庄原に来てくれるのだけど、いつもどおりジョイフルでトークショーをやらなにかという話。願ってもないこと。「もちろんやります。やらしてください。」

しかし、そこで思わぬ心配事が。当時を知る倉本さんと辻さんが不安そうに話します。何年前か前、カープ女子が社会現象になっていたころ、ブレイク前とはいえ、誠也とか九里、坂倉、野間らのカープ選手が来るとなると大変な騒ぎになったらしい。なんでも、前の日からジョイフルの駐車場に泊まりがけ。他県ナンバーの車も。駐車場からの連絡通路に坐り込んで待つお客さまも。700人とも800人とも言っていました。毎回それくらいのお客様が来られ、床が抜けるのではないかと冗談を言っていたそう。

確か市民会館の収容人数が700人くらいではなかったかと思えますが、それが、西上デパートの前に一斉に集まるのだから、ムードも盛り上がりますが、ちょっと怖いかもかもしれません。そんな体験があるものだから、二人が慎重になるのもわかります。しかし、そこはカープ球団も抜かりはなく、コロナ禍の今、ソーシャルディスタンスはしっかりとるように、選手とのふれあいは遠慮していただくなどの指示がありました。

結局100名様限定とし、あらかじめ申し込んでいただくことで、選とさせていただき、お知らせも店内だけにするといいこと、せっかくのイベントではありましたが、地味に進めていきました。もしかしたら、知らなかった。知っていたら応募したのにという方もいらっしやるかもしれません。申し訳ありませんでした。

と、言いながら、こんなことを言うのもなんですが、いい会でした。もっともっとたくさんのお客さまに参加していただきたかった。とくに、子供たち。キラキラ輝く3人のオーラを感じさせてあげたかった。

プロ野球という子供の時から夢の世界に飛び込み、がむしゃらに闘い、一年という長い、けどあつという間の時間を、プロ野球選手として過ごし、満足とは言わないが、少し、自信めいたものを身に付けた彼らの姿は見ていて心地いいものでし

た。「3本もホームランを打てるとは思わなかった。」と中村選手は言いました。63試合に出て、29本のヒットを打ち、その中の3本がホームラン。でも長距離ヒッターではない自分の持ち味を、よくわかっているのでしょうね。走攻守そろったバランスのとれた選手としてアピールしたいと抱負を語っていました。社会人を経験しているのもあってかナイスガイでした。

松本投手は、後半戦、ピンチのしびれる場面で登板。平気そうに見えたという司会の陽田さんの問いかけに、内心はバクバクだったと笑って答えていました。いちばん思い出に残っているのはDen a戦。回またぎで打たれて負けた時。二番目は、ヤクルト戦で押さえて、試合後、ファンに囲まれて「松本ありがとう」と言ってもらったとき。これがプロなんだと実感したのだとか。

今年に変化球の曲がりが悪く、「曲がってくれ」と祈るような気持ちで投げていたので、いつでも、ちゃんと曲がるように練習したいと笑いをとりながら来年の課題を話していました。田村選手は、けがの多い一年だった。と悔しさをにじませながら、まずは、プロの野球選手としての体づくりをしなければと言っていました。そのためには『筋トレ』だ。本人はそういうのですが、ここで中村選手が助け舟。「それでもベンチプレスなんか自分と変わらない重さを挙げるんですよ。」高校時代、打球が飛びすぎて隣地の家のガラスを割るので外野のネットを田村選手用に高くしたという逸話をもつスラッガーになお、体づくりが課題だという。プロの世界は、どれだけレベルが高いんだ。

別れ際、3人の体を触らせてもらいました。(もちろんユニフォームの上からです。)松本選手は分厚くたくましく、こりや、少々じゃこわれんなど思いました。体ができてないと聞いた田村選手の腕も胸も太く厚く筋肉も発達し、「おおスゴいじゃない」。ほんとにスゴかった。ところが、最後に触った中村選手。田村選手をもう一つ大きく強く感じた感じ「おおお」。

こんなばかりが集まるプロで凌ぎを削るということがどういふことなのか。しかも彼らはまだ、何者にもなっていないのです。誠也に触ってみたくまりました。

今シーズン、大谷ばかりでカープの試合はほとんど見ていません。こうして、目の前で生の話しを聞き、人柄に接してみると、応援したくなります。勝とうが負けようが、選手一人一人が好きだから。来シーズン、中村健人・松本竜也・田村俊介と正随優弥を応援しよう。来季はカープを見ます。バンバン試合に出てください。そう思わせた1時間でした。

それもこれも司会の陽田さんが、根っからのカープファンで3選手のことをよく知って、会話を盛り上げてくれたのも大きかった。素晴らしい進行でした。陽田さんありがとうございます。

我が社にも4人のルーキーが頑張っています。その中の一人が『西田鮮魚店 新鮮市場』で働く長崎大雅君。海上自衛隊を経て、入社試験を受け我が社へ。回転寿司や焼き肉など我が社の他の店をひと通り経験した後、『新鮮市場』で働きたいと言ってくれました。

同い年の西浦君と気が合ったこともあるのでしょう。明るくて、元氣。目がいきいきと輝いています。将来が楽しみな22才です。顔を見たら声をかけてやってください。人なつっこい子です。孫?みたいな感じで。

2022年12月4日